

令和4年度

筑波大学大学院
人文社会ビジネス科学学術院
ビジネス科学研究群
法学学位プログラム（博士前期課程）

入学試験問題

[小論文]

(2021年9月実施)

[注意事項]

答案用紙は、2枚使用し、裏面は使用しないこと。

問 題

次の文章は、内田貴『法学の誕生—近代日本にとって「法」とは何であったか』（筑摩書房、2018年）から抜粋し、出題用に編集を加えたものである。これを読み、問1から問4に答えなさい。

本文については、著作権法により
公表しておりません。

- 問1 下線部①にある陳重が生きた時代が僥倖であるといわれるのはなぜか。
- 問2 下線部②でいう「法学」とは何か。
- 問3 下線部④にあるハーンの観察とはどのようなものなのか、述べなさい。
- 問4 下線部③では、日本人が西洋法学を受容することが困難であったことが示されている。現代社会においても受容することが困難だと思われる制度や事例を紹介し、なぜそれを受容することが困難であると思うのか、あなたの考えを述べなさい。